

歯科材料 5 歯科用接着充填材料  
管理医療機器 歯牙固定用補強材 70817000

## コンストラクトキット

### 【禁忌・禁止】

本材又はメタクリル酸系モノマーに対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。

### 【形状・構造等及び原理】

#### ・コンストラクト

性状：帯状のリボン

原材料：ポリエチレン、エチレンジメチルアクリレート、その他

種類：幅；1mm／2mm／3mm

#### ・コンストラクトレジン

性状：ペースト

容器：シリンジ

原材料：エチレンジメチルアクリレート、カーボキシ、二酸化シラン、その他

色調：ニュートラル、ライト、ダーク

本材は、光・加熱重合型コンポジットレジンであり、可視光線エネルギーまたは加熱により重合硬化する。

### 【使用目的又は効果】

クラウンの修復及び製作、動揺歯の固定に用いる材料。

【効果又は効果に関連する使用上の注意】

- 適切な重合条件で使用する。
- 下記の【使用方法等】に記載の重合時間は、歯科重合用光照射器「オブラチックス501」（カー社製）、歯科技工用重合装置「ベルグラスHPキュアリングユニット」（カー社製）を前提に記述。他の重合装置を使用する場合には、使用説明書に指定された重合時間で重合すること。

### 【使用方法等】

#### 1. クラウン

- 赤（または青）のマージン・ライナーで軽く印をつけ、すべてのアンダーカットをブロックアウトする。使用する模型分離材（カー社「ハーフセップ」、セパレーター等）の使用法に従って塗布する。（セパレーターを使用する場合はセパレーターを完全に乾燥させる。）
- 歯冠用硬質レジンの適切なシェードを1～2mm取り出し、ミキシングパレットの上に置く。
- 適切な歯冠用硬質レジン（カー社「プレミス インドレックス」等）ペーストを歯型の上に乗せる。ブラッシングモーションでペーストを上方からマージン側まで全体的に形成していき、最終的に“キャップ状”になるようにする。コーピングは適正に形成されると約0.2mmの厚さになる。この時点で重合はしないこと。
- コンストラクトを適切な長さにカットする。コンストラクトの幅を広げ、適切なシェードのコンストラクトレジンに浸漬する。
- ピンセットでコンストラクトを持ち上げ、クラウンの全周を被いながら接合部でわずかに重なるようにする。
- ピンセットを用いてコーピング上に乗せ、マージンから約3分の1の位置の周りにコンストラクトを巻きつける。

- ⑦ スパチュラを用いて気泡を除去しながら、歯冠用硬質レジンペーストを薄く延ばし、コンストラクトを被う。各面すべてを光照射器で40秒間づつ重合する。コーピング上の繊維をより暗くする必要がある場合は、ダーク・レジンを薄く一層塗布し、40秒間光照射する。重合後、作成後のクラウン除去を簡単にするために、コーピングをそとつかみ歯型から外し、またすぐに歯型に戻す。咬合の不足などところは適量の歯冠用硬質レジン（カー社「プレミス インドレックス」等）を築盛し、適正な咬合クリアランスをチェックする。その後、40秒間光照射する。
- ⑧ 歯冠用硬質レジンのエナメルシェード（カー社「プレミス インドレックス」等）を適量のせ、各表面すべてに40秒間づつ光照射する。
- ⑨ ベルグラスHPキュアリングユニットの中で10分間重合する。
- ⑩ パー・ホイール等を用いて仕上げと研磨をする。
- ⑪ マイクロエッチャーでクラウンの内面をエッチングする。
- ⑫ 水洗・乾燥する。
- ⑬ 接着面をシラン処理（カー社「シランプライマー」等）し、完全に乾燥させる。

#### 2. リンガルスプリント（間接法）

- ① 赤（または青）のマージン・ライナーで軽く印をつけ、すべてのアンダーカットをブロックアウトする。使用する模型分離材（カー社「ハーフセップ」、セパレーター等）の使用法に従って塗布する。（セパレーターを使用する場合はセパレーターを完全に乾燥させる。）
- ② 歯冠用硬質レジン（カー社「プレミス インドレックス」等）の適切なシェードを選択する。石膏の外形線内に0.2mmの厚さの歯冠用硬質レジンを敷く。
- ③ 必要な長さのコンストラクトをカットする。コンストラクトの幅を広げ、適切なシェードのコンストラクトレジンに浸漬する。
- ④ コンストラクトを歯冠用硬質レジンの上に置く。スパチュラを用いて気泡を除去し、40秒間光照射する。
- ⑤ 0.3mmの厚さの歯冠用硬質レジン2層目を薄板状のコンストラクトにのせ、一面につき少なくとも40秒間光照射する。そして、ベルグラスHPキュアリングユニットの中で20分間重合する。外形に沿って研磨し、ラバーホイールをかけてなめらかにする。模型からスプリントを外し、外形部を仕上げる。
- ⑥ 研磨し、マージンをチェックするためにもう一度適合させる。マイクロエッチャーを用いて50μmのアルミナで歯牙接触面をサンドブラスト処理する。
- ⑦ アルコールとアセトンでスプリントを清掃・消毒する。
- ⑧ 接着面をシラン処理（カー社「シランプライマー」等）し、完全に乾燥させる。

#### 3. ペリオドンタル スプリントの作成（直接法）

- ① 細長い弾力性のない柔らかいもの（例：デンタルフロス）やアルミホイルをスプリントする歯牙に沿わせ、コンストラクトに必要な長さを計測する。
- ② 鋏板上にカットしたコンストラクトに乗せ、コンストラクトレジンで浸漬し、十分に染み込むまで覆っておく。動揺歯は、コンポジットレジン（カー社「レボリューション2」等）を歯牙の唇面隣接面に留め付け、重合することにより、希望の位置に固定させることが可能です。コンポジットレジンがスプリントが接着された後でも除去できる。
- ③ 歯牙にボンディングの準備をする。サンドブラスターで歯牙を清掃するか、または清掃に先立ってパーを用いてエナメル面を粗造化する。リン酸エッチング材（カー社「レッチャント」等）を用いて適正秒数エッチング処理し、ボンディング材（カー社「ボンド・プロテクト」等）を用いて、歯牙のボンディング処理をする。0.2mm程度の厚さのコンポジットレジンのをせる。

- ④ コンポジットレジンにコンストラクトを圧接する。歯冠形態に適合するように、器具を用いて隣接面部に押し入れる。コンストラクトがずれないように、グローブを付けた手指で押さえ、隣接部にコンストラクトを一歯づつ器具を用いて押し込んでいく。コンストラクトがいったん適合されたら、余剰なコンポジットレジン除去していく。唇舌側両面からスプリントを照射する。一歯づつ一面あたり 40 秒間照射すること。コンポジットレジン最終レイヤーを加え置き、コンストラクトをサンドイッチするようにする。隣接面部に流れ出した余剰なコンポジットレジン除去し、一面あたり 60 秒間照射する。
- ⑤ 咬合をチェックして、溝付きバーで仕上げ、研磨する。

#### [使用方法に関連する使用上の注意]

- 1) コンストラクトレジンを使用する場合には、必要量を取り出した後ハンドルを戻し、シリンジ内の圧力を解放してからキャップをすること。
- 2) 窓際、技工用ライト直下等、明るい場所で築盛するとペーストが硬化することがあるため、強い光の当たらない場所で使用すること。
- 3) 材料特性の低下を防ぐため、カー社製以外の歯冠用硬質レジン、歯科充填用コンポジットレジンと使用しないこと。

#### 【使用上の注意】

##### [重要な基本的注意]

1. 本材の使用により発疹などの過敏症状が現れた患者には使用を中止し、医師の診断を受けさせること。
2. 本材又はメタクリル酸系モノマーに対して発疹、皮膚炎等の過敏症のある術者は、手袋等を用いて直接触れないようにすること。また、本材の使用により発疹、温疹、発赤、潰瘍、腫瘍、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた術者は、使用を中止し、医師の診断を受けること。
3. 本材は、口腔軟組織や皮膚に付着させたり、目に入らないように注意すること。付着した場合には、すぐに大量の流水で洗浄すること。万一目に入った場合には、すぐ大量の流水で洗浄し、眼科医の診察を受けること。
4. 未重合物質は、接触皮膚炎を起こす可能性があるため皮膚や軟組織に長時間接触させないこと。

#### \*【保管方法及び有効期間等】

##### [保管方法]

- ・ 本材は、高温多湿を避けて室温で保管し直射日光、デンタルライト等の強い光があたる場所に置かないこと。

##### [有効期間]

- ・ コンストラクト 36 ヶ月 、コンストラクトレジン 60 ヶ月

[自己認証（製造元データ）による]

使用期限は、包装に記載。

#### \*\*【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者氏名 : カボデンタルシステムズ株式会社  
連絡先 : 03-6866-7272  
製造業者 : カー社 (Kerr Corporation)  
国名 : アメリカ (U. S. A.)